

(1) 日時および場所 2022年9月5日 13:30~14:49
信州大学第1講義棟20番教室 (対面・オンライン併用)

(2) 代議員の現在数 30名

(3) 出席した代議員の数および出席者氏名 (評決委任者を含む)
阿部芳久, 秋元信一, 五箇公一, 林 成多, 市岡孝朗, 井手竜也, 岸本圭子, 久保田耕平,
前藤 薫, 松尾和典, 蓑島悠介, 三田敏治, 中濱直之, 中尾史郎, 沼田英治, 大原昌宏,
大島一正, 小野正人, 坂巻祥孝, 佐野正和, 曾田貞滋, 末吉昌宏, 鈴木誠治, 高須賀圭三,
立田晴記, 上田昇平, 山田量崇, 山本周平, 吉田貴大
出席代議員数 29名

(4) 総会に出席した役員の氏名

理事

大原昌宏, 広渡俊哉, 吉澤和徳, 鈴木誠治, 佐野正和, 坂巻祥孝, 江口克之

監事

阿部芳久, 大島一正

(5) 総会議長の氏名

大原昌宏 会長

(6) 決議事項及び報告事項

報告事項 (カッコ内は報告者)

1. 庶務幹事報告 (庶務担当 吉澤和徳)
2. 渉外・事務幹事報告 (渉外・事務幹事 井手竜也)
3. 図書幹事報告 (図書幹事 神保宇嗣, 代読 吉澤)
4. 編集委員会報告 (委員長 坂巻祥孝)
5. 自然保護委員会報告 (委員長 矢後勝也, 代読 吉澤)
6. 日本の昆虫編集委員会報告 (委員長 紙谷聡志)
7. 電子化推進委員会報告 (委員長 杉浦真治 委員長代理 上田昇平)
8. 大会支援委員会報告 (委員長 吉澤和徳)
9. 日本昆虫目録委員会報告 (委員長 三枝豊平, 委員長代理 中村剛之)
10. 将来問題検討委員会報告 (委員長 大庭伸也)
11. 男女共同参画推進委員会報告 (委員長 平井規央)
12. 選挙管理委員会報告 (委員長 広渡俊哉)
13. 日本 ICIPE 協会に関する報告 (協会委員 佐藤宏明, 代読 吉澤)
14. 自然史学会連合に関する報告 (連合昆虫学会代表 矢後勝也, 代読 吉澤)
15. 日本分類学会連合に関する報告 (連合昆虫学会代表 大原昌宏・井手竜也)
16. 国際昆虫学会議に関する報告 (国際昆虫学会評議委員 深津武馬, 代読 吉澤)
17. 日本昆虫科学連合に関する報告 (連合昆虫学会代表 阿部芳久, 後藤慎介)

18. 2022 年度大会の日程と開催地（会長 大原昌宏，大会長 徳田誠）

19. その他

協議事項

1. 2021 年度決算，会計監査
2. 2022 年度予算
3. 昆虫（ニューシリーズ）投稿規定改訂
4. 名誉会員の推薦（投票）
5. 任期満了に伴う理事，委員長の選任（投票）
6. その他

（7）議事の経過の概要及びその結果

報告事項

・ 渉外・事務幹事報告：執行部からの依頼を受け，日本昆虫学会の主たる事務所として登記されている所在地を，つくば市の国立科学博物館に移転するため，事前に関係部署への確認を行い，承諾を得た。

・ 図書幹事報告：昆虫ニューシリーズの即時一般公開化にともない，昆虫学会ウェブサイトの会員向け昆虫NS閲覧ページおよび公開ページでの昆虫NS目次ページを，バックアップを取得した上で終了した。今後はJ-STAGEの昆虫ニューシリーズのページを利用いただきたい。また，Clarivate社より，学会誌の寄贈受け入れを冊子体から電子体（PDF）に変更したいという依頼があり，今後は電子体で送付するよう準備を進めている。

・ 編集委員会報告：Wiley社からの提案で2021年から年間の出版ページ数の上限(488ページ)が撤廃された。これによって年間総ページ数を配慮する必要がなくなった。このことに伴って，2022年にWileyから論文ごとの超過ページチャージ(1ページあたり8,000円)廃止の提案があった。現在1論文当たり16印刷ページの上限がありこの上限は残すが，ページチャージを課さないことで理事会承認を得た。また，24巻まで各論文に巻ごとのページ番号が振られていたが，25巻から即時出版となり，頁番号も廃止となり，頁番号の代わりにens. XXXXX という論文番号が振られる出版形態に変更された。

原稿中で使用されている材料が関係国の法令等に従って適正に取り扱われたものであることを，Editorial Systemでの投稿時にすべての著者に対して確認する仕様に変更できることが確認できたため，Wiley 担当者と編集部間でこの確認の文案について検討中である。

今年度より，J-Stageでのエンバーゴ期間（電子版の公開日から，会員外が本文にアクセスできる期間；昨年度までは2年）をゼロ日，すなわち出版日と同日にすべての論文のPDFを公開することになった。25巻2号は，予定通り6月25日に印刷されたが，「25巻1号からJ-Stageでの即時公開」となったことに関して，編集部と国際文献社の担当者間で連絡の齟齬があり，J-Stageでの公開が6月29日となってしまった（1号については同日公開できている）。同日公開について，国際文献社の担当者と既に再度説明済み。

・ 自然保護委員会報告：今年7月に60年ぶりの再発見が報告されたことで話題となっているキイロネクイハムシについて，ネクイハムシの専門家でもある中国地区の林成多自然保護委員から「種の保存法」に基づく緊急指定の必要性に関する意見が挙がり，他の委員からも強い推薦があった。そのため，環境省野生生物課の担当部署に緊急指定を検討することと，再発見に関わった関係者

にも意見を募ることなどを申し入れた。また、検討する際には本委員会の中からも専門家（林委員）を紹介する用意があることを合わせて伝えた。

・日本昆虫目録委員会報告：第6巻鞘翅目第1部の編集が終了し、既刊分と同様に福岡市の権歌書房に印刷出版を依頼し、これについて同社からの見積もりが学会本部で承認されて、印刷に取りかかっている。大会開催時までには刊行することを目指していたが、若干遅延し、刊行は翌10月を予定している。これによって、編集が遅滞していた第6巻鞘翅目の他の部に刊行を促進させる契機となる。

第7巻鱗翅目蛾類の編集が遅滞している。特に小蛾類担当の神保委員が諸用件で多忙のために、小蛾類担当として3名の編集委員の追加を構想している、この件は編集委員会の議を経て本部の承認を得て、会長から委嘱をお願いする予定である。大形蛾類については、編集執筆作業が進められているが、従来の蛾類の図鑑などに誤謬が多く、その点検を詳細に行っている段階である。年内に大蛾類の一部について編集を完了する予定である。

本目録の最初の出版である第7巻鱗翅目蝶類が2013年に刊行されてから、かなりの年月を経ているので、内容的に改定の必要がある。しかし、本目録刊行の前提として、全巻の刊行が終了した段階で、改訂版や電子化に取り組むことになっている。このためにも未刊の部の編集の進捗並びに刊行について委員会として一層の努力を続ける所存である。

・男女共同参画推進委員会報告：男女共同参画学協会連絡会：2021年の日本昆虫学会代議員総会で、男女共同参画学協会連絡会への参加が承認されたことから、2022年度からオブザーバーとして参加している。オブザーバー加盟は、正規加盟になる前の準備段階として位置づけられており、入会日から3年経過すると正式加盟となる。

・選挙管理委員会報告：2022・2023年度の会長候補者意向投票および代議員選挙は、本会で初めてWEBで実施した。6月10日に投票を開始、7月11日に投票を締め切り、7月12日に開票を行って会長候補者ならびに代議員を選出した。選挙方法の変更により、役員・代議員選任規則や選挙細則を大幅に改正する必要があったが、選挙自体は問題なくスムーズに実施できた。

・国際昆虫学会議に関する報告：ICEヘルシンキ大会において、第27回国際昆虫学会議を2024年8月25-30日に京都国際会館で開催することが、第27回国際昆虫学会議（ICE2024 Kyoto）組織委員会より正式に発表された。

・2023年度大会の日程と開催地：会場 佐賀大学（オンサイトを予定）、日時 2023年9月16～18日、大会長 徳田誠

決議事項

・2021年度決算、会計監査：原案の通り全会一致で可決された。

・2022年度予算：原案の通り全会一致で可決された。

・昆虫（ニューシリーズ）投稿規定改訂：昆虫（ニューシリーズ）を「和文誌」から「国内誌（主に国内向けの雑誌）」という位置付けに変更すること、投稿の原則電子化、「連絡著者」のメールアドレスを、責任著者のみの明記を基本とすること、原稿の区分に「データペーパー」を加えること、ABS順守に関する文言の記入と、ABSアドバイザー・エディターの設置することを盛り込んだ投稿規定の変更案が提案され、原案の通り全会一致で可決された。

・名誉会員の推薦：名誉会員候補者として石井実会員が推薦され（推薦者：代議員 上田昇平）、無記名投票の結果承認された。（投票数：25名）

・理事、監事、委員長を選任：無記名投票により、以下の理事・監事・委員長予定者の全員が選任された。（投票数：25名）

広渡俊哉 九州大学 (代表理事予定)
市岡孝朗 京都大学 (副代表理事予定)
紙谷聡志 九州大学 (庶務担当理事予定)
三田敏治 九州大学 (庶務担当理事予定)
屋宜禎央 九州大学 (会計担当理事予定)
徳田 誠 佐賀大学 (大会理事予定)
大原昌宏 北海道大学 (監事予定)
野村周平 国立科学博物館 (監事予定)
林 成多 ホシザキグリーン財団 (自然保護委員会委員長予定)
山田量崇 兵庫県立大学 (日本の昆虫編集委員会委員長予定)
大島一正 京都府立大学 (将来問題検討委員会委員長予定)
上田昇平 大阪公立大学 (電子化推進委員会委員長予定)
中尾史郎 京都府立大学 (男女共同参画委員会委員長予定)

その他

・阿部代議員より、2024年大会を例年通り9月開催とすると、8月下旬開催の国際昆虫学会議の直後となることから、3月の独自開催または日本応用動物昆虫学会との共同開催を検討すべきとの提案があり、次期理事会で検討することが確認された。

以上、上記決議を明確にするため本議事録を作成し、議長（議事録作成者）および議事録署名人が次に署名押印する。

会長

代議員

代議員